資料５－１

社会福祉事業団による養育園保護者説明会(県障害福祉課同席)における主な意見

(H26.1.26)

〇事件の背景として、勤務体制に問題はなかったか。徹夜明けでも数時間の仮眠で目をこすりながら勤務しているのを１年間で何回か目撃している。十分な賃金・余暇・リフレッシュなど、働く人達が人間らしい生活ができているのか、まず、そこをクリアしないといけない。職員の待遇改善のための折衝の場や現場の不満を吸い上げて改善する場所が必要。

〇スキルが求められる職場で、机上の勉強では対応できない。民間で受け入れてくれない子たちが集まっていることを踏まえて、経験・スキルの持った人を配置して欲しい。福祉センターではスタンダードだと思っていたことが、民間から見れば古臭いものもある。外部からの意見を聞くのが大事。4 月以降どうなるのか、あいまいな答えしかない。心配している。

〇事業団の体制の特質、事件の背景が明らかになるように外部の第三者も入れて調査をしてほしい。その都度、保護者に開示してほしい。

〇虐待防止委員会はあったのか。体の状態をちゃんと確認していたのか疑問だ。

〇支援員は気持ちの優しい人がなっていると思うが、そういう人でもこのような事件を起こしてしまうということではないか。それを食い止めるために、声を上げる場所はあったのか。

〇支援のあり方によって子どもたちの問題行動が多くなるのではないか。支援員の質が落ちたのではないか。

〇上司に意見を言うと職を失うのではないかと思う気の弱い人もいる。先輩だから上の者だからその人の言うことを聞け、という考えを変えていかなければ、またこのような事件は起こる。

〇事件が起こる前に幹部や県に報告していたらこんなことにならなかったのではないか。

〇アットホームな雰囲気の寮もあり、子供も喜んでいる。職員にもなついていて、預けてよかったと思う。